

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	総合英語Ⅱ A	
科目基礎情報							
科目番号	0156			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	一般科目			対象学年	2		
開設期	前期			週時間数	4		
教科書/教材	教科書：GroveⅡ（文英堂）、Evergreen English Grammar 25 Lessons（いっずな書店） / 参考書：Evergreen（いっずな書店）、Data Base 3000（桐原書店）						
担当教員	荒川 吉孝,藤田 憲司						
到達目標							
1 聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 2 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。 3 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 4 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。 5 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。 6 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	明瞭で聞き手に伝わるような発話ができる。		明瞭で聞き手に伝わるような発話がある程度できる。		聞き手に伝わるような発話ができない。		
評価項目2	高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。		高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得してある程度適切に運用できる。		高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得・運用できない。		
評価項目3	高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。		高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得してある程度適切に運用できる。		高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得・運用できない。		
評価項目4	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。		日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いてある程度英語で話すことができる。		日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができない。		
評価項目5	説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。		説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手にある程度伝わるように音読ができる。		説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができない。		
評価項目6	平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。		平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報がある程度読み取ることができる。		平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (E)							
教育方法等							
概要	様々なトピックの英語に触れながら、「読む」「書く」「聴く」「話す」の4技能を総合的に学ぶ。特に、英語の構文を身につけ、英語による理解や自己表現ができるようになるための基礎を養う。						
授業の進め方・方法	週2回の授業でリーダーと文法を学ぶ。リーダーは単語の発音、本文の聴き取りと音読、意味の理解を中心とし、文法は例文の説明と練習問題を通して、文法構造を身につける。						
注意点	【成績の評価方法・評価基準】 定期試験を70%、小テスト・課題・スピーチ・演習活動を30%として評価する。上述の到達目標に基づき、授業に対する積極的な取り組みと授業内容の理解を評価基準とする。 【学習方法】 毎回、教科書を事前に読んで、ノートに英文を筆写し訳文を書いてくること。辞書を持参すること。繰り返し音読すること。 【教員の連絡先】 担当者：荒川吉孝 / 藤田憲司 研究室：A-301 / A-303 内線電話：8906 / 8900 E-mail：arakawa / k.fujita それぞれに@maizuru-ct.ac.jpをつける						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	シラバス内容の説明 Lesson 1 Mt. Fuji: The Pride of Japan (1)		1 聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 2 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。 3 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 4 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。 5 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。 6 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。		

		2週	Lesson 1 Mt. Fuji: The Pride of Japan (2) / Lesson 14 分詞 (1)	1 聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 2 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。 3 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 4 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話することができる。 5 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。 6 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。
		3週	Lesson 1 Mt. Fuji: The Pride of Japan (3) / Lesson 15 分詞 (2)	1 聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 2 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。 3 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 4 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話することができる。 5 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。 6 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。
		4週	Lesson 2 Yes, I Do Climb (1) / Lesson 16 分詞 (3)	1 聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 2 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。 3 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 4 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話することができる。 5 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。 6 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。
		5週	Lesson 2 Yes, I Do Climb (2) / Plus 分詞	1 聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 2 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。 3 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 4 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話することができる。 5 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。 6 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。
		6週	Lesson 2 Yes, I Do Climb (3) / Lesson 17 比較 (1)	1 聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 2 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。 3 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 4 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話することができる。 5 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。 6 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。

		7週	まとめ	1 聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 2 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。 3 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 4 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。 5 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。 6 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。
		8週	★前期中間試験	
	2ndQ	9週	試験返却、答え合わせ Lesson 3 A Penguin Called Happy Feet (1) / Lesson 18 比較 (2)	1 聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 2 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。 3 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 4 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。 5 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。 6 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。
		10週	Lesson 3 A Penguin Called Happy Feet (2) / Plus 比較	1 聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 2 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。 3 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 4 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。 5 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。 6 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。
		11週	Lesson 3 A Penguin Called Happy Feet (3) / Lesson 19 関係詞 (1)	1 聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 2 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。 3 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 4 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。 5 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。 6 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。
		12週	Lesson 4 Warka Water (1) / Lesson 20 関係詞 (2)	1 聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 2 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。 3 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 4 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。 5 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。 6 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。

		13週	Lesson 4 Warka Water (2) / Lesson 21 関係詞 (3)	1 聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 2 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。 3 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 4 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話することができる。 5 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。 6 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。
		14週	Lesson 4 Warka Water (3) / Plus 関係詞	1 聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 2 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。 3 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 4 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話することができる。 5 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。 6 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。
		15週	Lesson 4 Warka Water (4)	1 聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 2 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。 3 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 4 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話することができる。 5 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。 6 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。
		16週	★前期末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0